

令和7年度

自 令和7年 4月 1日
至 令和8年 3月31日

事業報告

一般社団法人日本物流団体連合会

(総括)

令和7年度は、ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエル周辺での紛争が長期化するとともに、新たに発生した米国・イスラエルによるイラン攻撃はペルシャ湾岸諸国へと飛び火し、ホルムズ海峡封鎖という世界のエネルギー資源調達に支障をきたす重大問題に発展した。また、AIの開発と実装は米国等を中心に、想定を上回るスピードで進捗し、あらゆる社会的分野において業務プロセスや効率性を向上させるとともに、一方で人間の業務領域に大きな影響を及ぼし始めている。国内においては、様々な分野の代表からなる検討会で丁寧な議論が行われた結果、2030年度に向けた次期「総合物流施策大綱」が取りまとめられた。荷主業界と一体になって実効性のある物流最適化を推進する流れができたことは特筆に値する。このような状況において、物流連においては従来からの課題である業界の担い手確保に注力した。物流業界セミナー、合同説明会や寄附講座の開催に加え、若手対象の「転職フェア」への出展を行い、より多くの学生や若手世代に物流業をより身近に感じてもらうべく、その魅力を伝えてきた。また、SNS(“X”)の利用を新たに開始し、従来ホームページを中心としてきた広報活動をより即時的に、また会員と連携して行うプラットフォームを整えた。さらに新たに組成が決まった広報に関するワーキングチームで物流連としての広報活動の強化を図ろうとしている。

「国際的な課題への取り組み強化」では、昨年度から開始したインドの物流事情の現地調査を行い、報告書の作成を行った。インドはコールドチェーン物流など日本が強みとするセグメントの発展が今後期待され、引き続き注視していく必要がある。

「労働力不足・物流の生産性向上を目指した取り組み」については、ダイバーシティ推進ワーキングチームにおいて、「物流業界における障がい者活躍推進に向けた検討報告書」を取りまとめ作成した。また、会員のDX推進を後押しすべく、先進技術活用推進情報交換会を下期より開催し、参考事例の共有やワークショップを実施した。

「物流環境対策への取り組み」では、従来実施してきた「モーダル優良事業者大賞表彰」と「物流環境大賞」は表彰の目的は異なれど、取り組みの手段・方法は重複する事例が多く、よって一本化して新たに「日本物流大賞」を創設し、より多角的な視点からの取り組み事例の応募を奨励することとした。

このほか、1月には物流人材の確保と育成をテーマとした「物流連新春シンポジウム」を開催し、2月には国土交通省物流・自動車局も交えて主要メディアの論説委員・解説委員との懇談会を開催し、意見交換を行った。

令和8年度は特定荷主にCLO選任を義務付ける等を内容とする改正物流法が全面施行され、トラック適正化二法の施行も控えている。また、道路運送では中継輸送促進に関わる法改正も予定されているなど、物流の効率化を進める国の施策に沿い、将来に向けて物流業

界が姿を変えていく大きな転機にある。自然災害への対応やカーボンニュートラルへの対応等の既存の課題に取り組むとともに、国内の重要な物流インフラやサプライチェーンを狙ったサイバー攻撃への対策等も新たな課題として生じている。

物流業界のさらなる発展に寄与するため、以上のような問題意識のもと、官民連携、他業界との連携を強化しつつ、より一層充実した取り組みを行っていく。

目 次

I. 法人の状況に関する重要な事項	1 P
1. 業務活動の推進（委員会活動等）	1 P
(1) 基本政策委員会関係	1 P
(2) 人材育成・広報委員会関係	2 P
(3) 国際業務委員会関係	6 P
(4) 環境・サステナビリティ委員会関係	9 P
(5) 経営効率化委員会関係	12 P
2. 公益目的支出計画による事業活動	17 P
実施事業<継続事業>に関する事業報告	17 P
3. 広報・情報提供・出版事業等の活動	18 P
(1) 会員及び外部への情報提供等	18 P
(2) 出版事業	21 P
(3) 物流EDI事業	22 P
(4) サイバーセキュリティ関連	22 P
4. 総会・役員会の開催状況	23
(1) 総会	23 P
(2) 正副会長会議	23 P
(3) 理事会	23 P
5. 会員の異動	25 P
II. 業務の適正を確保するための体制の整備についての決定等	25 P
III. 事業報告の付属明細書について	25 P

I. 法人の状況に関する重要な事項

1. 業務活動の推進（委員会活動等）

(1) 基本政策委員会関係

①第37回基本政策委員会

- ・開催日：令和7年9月30日（火）

第一部「講演会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：90名（対面13名、オンライン77名）
- ・講師：国土交通省物流・自動車局物流政策課長 高田龍氏
- ・テーマ：「最近の物流政策の概要について」

第二部「委員会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：14名
- ・議題：a. 令和8年度物流・自動車関係予算概算要求概要について（国交省）
b. 物流連の令7年度上期事業活動について
c. その他

委員会では、最初に高田物流政策課長から「令和8年度の物流関係の予算概算要求等の概要」について説明があり、これを受けて各委員より活発な質疑応答があった。

続いて、事務局から物流連の上期の活動状況等の報告が行われ、引き続き官民連携による課題解決に向けた取り組みの重要性が確認された。

②第38回基本政策委員会

- ・開催日：令和8年3月23日（月）

第一部「講演会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：77名（対面13名、オンライン64名）
- ・講師：国土交通省物流・自動車局物流政策課長 高田龍氏
- ・テーマ：「最近の物流政策について」

第二部「委員会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：14名
- ・議題：a. 一般社団法人国際フレイトフォワードーズ協会の活動概況について
b. その他（物流連の令和8年度事業計画（案）について）

委員会に先立つ講演会では、高田物流政策課長から物流業界の現状について説明

があった後、「改正物流法」「トラック適正化2法」の施行状況及び令和7年度補正予算・令和8年度予算及び、次期「物流施策大綱」の内容について詳細な説明があった。

委員会では、一般社団法人国際フレイトフォワーダーズ協会の専務理事でもある鈴木庸夫委員から「フレイトフォワーダーに係る課題」についての説明があり、意見交換が行われた。その後、事務局から物流連の令和8年度事業計画（案）の説明が行われ、活発な質疑応答がなされた。

(2) 人材育成・広報委員会関係

①令和7年度第1回人材育成・広報委員会

- ・開催日：令和7年9月24日（水）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：21名（対面13名、オンライン8名）
- ・議題：a. 令和7年度 上期活動報告について
b. 令和7年度 下期活動計画について

赤間委員長の挨拶の後、事務局から上期活動として「物流いいとこみつけ隊」や大学生を対象とした「物流業界研究セミナー」「大学寄附講座」「大学学内セミナー」について事務局から報告があった。

続いて、事務局から下期活動計画として、大学生を対象とした「物流業界合同説明会」「大学寄附講座」「大学学内セミナー」また、中学生を対象とした「職場体験」について説明があり、下期活動計画は原案通り承認された。

②令和7年度第2回人材育成・広報委員会

- ・開催日：令和8年3月5日（木）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：16名（対面7名、オンライン9名）
- ・議題：a. 令和7年度 活動報告について
b. 令和8年度 活動計画について

赤間委員長の挨拶の後、事務局から下期活動として「物流いいとこみつけ隊」や大学生を対象とした「物流業界合同説明会」「大学寄附講座」「大学学内セミナー」、中学生を受け入れた「職場体験」、X（旧 Twitter）による広報活動についての報告があった。

続いて、事務局から令和8年度の年間活動計画の説明があり、既存活動のほかに、業界の魅力向上のため「広報ワーキングチーム」を新たに発足させる内容が盛り込まれた年間活動計画が、原案通り承認された。

③令和7年度「物流業界研究セミナー」の開催

主に就職活動を控える学生に、「物流業の社会的重要性や先進性などに対する理解を深め、業界の魅力を感じてもらい、インターンシップや仕事体験に参加する物流企業を発見する機会を提供すること」を目的に開催した。

オンラインで2回、対面で1回開催し、参加学生は、各社の会社概要や事業内容、役割や使命、インターンシップ等の様々な情報を収集した。また、特別プログラムとして、物流連が行う業界全般に関する講演会や会員企業の若手によるトークセッションなどの企画を用意した。

全体として、参加学生数はのべ216名、参加企業数は32社だった。

【オンライン開催1回目】

・開催日 令和7年6月11日（水） 参加学生数 56名 参加企業数 32社

【オンライン開催2回目】

・開催日 令和7年7月12日（土） 参加学生数 90名 参加企業数 24社

【東京開催】

・開催日 令和7年8月9日（土） 参加学生数 70名 参加企業数 23社

【プログラム内容】（各日程共通）

- ・各企業説明（各企業1クール30分、オンライン各日10クール、会場各日7クール）
- ・特別プログラム1：講演会「物流業界の現状と未来」
- ・特別プログラム2：トークセッション
- ・特別プログラム3：投票形式 ぶっちゃけ質問会！
- ・特別プログラム4：各社1分間アピールタイム（対面開催のみ）

※参加企業一覧（50音順）

(株)イーソーコドットコム／上野トランステック(株)／(株)ANA Cargo／
SBSフレック(株)／NX商事(株)／F-LINE(株)／ケイヒン(株)／鴻池運輸(株)／
佐川急便(株)／佐川グローバルロジスティクス(株)／西濃運輸(株)／セイノースーパーエクスプレス(株)／
センコー(株)／第一貨物(株)／東陽倉庫(株)／東洋埠頭(株)／トナミ運輸(株)／
ニチレイロジグループ／(株)日新／日鉄物流(株)／日本貨物鉄道(株)／日本梱包運輸倉庫(株)／
日本通運(株)／日本パレットレンタル(株)／日本ロジテム(株)／福山通運(株)／(株)丸運／
丸全昭和運輸(株)／三井倉庫ホールディングス(株)／安田倉庫(株)／ユーピーアール(株)／
ロジスティード(株)

④令和7年度「物流業界合同説明会」の開催

就職活動を控える学生等を対象に物流業を広く理解してもらう目的で、多様な業種の物流企業が一堂に集結し、業界研究及び採用情報等を得る機会を与える合同説明会をオンライン、対面（東京、大阪）で開催した。

各社が会社概要や経営戦略、提供する物流サービス等の企業情報を説明するほか、特別プログラムとして、物流連による講演会や若手社員の実体験やアドバイス等を直接聞

くことのできるトークセッション等の企画を用意した。

全体として、参加学生はのべ約290名、参加企業数は36社だった。

【オンライン開催1回目】

・開催日：令和7年12月13日（土） 参加学生数 55名 参加企業数 30社

【オンライン開催2回目】

・開催日：令和8年1月9日（金） 参加学生数 86名 参加企業数 33社

【東京会場】

・開催日：令和8年2月7日（土） 参加学生数 98名 参加企業数 32社

【大阪会場】

・開催日：令和8年2月14日（土） 参加学生数 51名 参加企業数 18社

【プログラム内容】（各日程共通）

- ・各企業説明（各企業1クール30分、オンライン各日10クール、会場各日7クール）
- ・特別プログラム1：講演会「物流業界の現状と未来」
- ・特別プログラム2：トークセッション
- ・特別プログラム3：投票形式 ぶっちゃけ質問会！（オンライン開催のみ）
- ・特別プログラム4：各社1分間アピールタイム（対面開催のみ）

※参加企業一覧（50音順）

(株)イーソーコドットコム／(株)ANA Cargo／SBSフレック(株)／NRS(株)／
NX商事(株)／F-LINE(株)／花王ロジスティクス(株)／ケイヒン(株)／鴻池運輸(株)／
佐川急便(株)／佐川グローバルロジスティクス(株)／山九(株)／西濃運輸(株)／
セイノースーパーエクスプレス(株)／センコー(株)／第一貨物(株)／東洋埠頭(株)／
トナミ運輸(株)／ニチレイロジグループ／(株)日新／日鉄物流(株)／日本貨物鉄道(株)／
日本梱包運輸倉庫(株)／日本通運(株)／日本パレットレンタル(株)／日本ロジテム(株)／
(株)ニヤクコーポレーション／福山通運(株)／(株)丸運／丸全昭和運輸(株)／
三井倉庫ホールディングス(株)／三菱倉庫(株)／安田倉庫(株)／ヤマト運輸(株)／
ユーピーアール(株)／ロジスティード(株)

⑤「ロジスティクスPRグループ2025～物流いいところみつけ隊」会合の開催

物流業界の社会的認知度向上を目的に、会員企業の若手社員で構成する物流いいところみつけ隊は、物流業界研究セミナーや物流業界合同説明会の運営について、また小学生にたいしての物流魅力発信について意見交換を計5回行った。

また初めての試みとして、国土交通省 物流・自動車局 五十嵐 俊祐 氏（文部科学省在籍）を講師に招き、「物流のイメージアップと採用競争力の向上」と題してお話を伺った（3月6日）。

- ・開催日：令和7年4月25日（金）、6月19日（木）、9月18日（木）、
11月19日（水）、令和8年3月6日（金）

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階中会議室 ※オンライン併用

⑥大学寄附講座の実施

物流各界を代表するトップマネジメントがそれぞれの立場から物流事情を講義する大学寄附講座を、前期1校、後期1校で実施した。

- ・前期：青山学院大学 毎週月曜日3限（令和7年4月～7月）
登録学生 200名
- ・後期：横浜国立大学 毎週木曜日3限（令和7年10月～令和8年1月）
登録学生 83名

⑦大学学内セミナーへの講師派遣

物流連と会員企業が大学生を対象に会社概要や事業内容等の説明を行い、参加者が物流業の社会的重要性や先進性について幅広い理解を深められる講義を以下の大学で実施した。

- ・京都外国語大学（オンライン） 令和7年6月5日（木）
- ・東京女子大学（オンライン） 6月17日（火）
- ・清泉女子大学（動画提供） 6月19日（木）
- ・神戸学院大学（オンライン） 6月20日（金）
- ・国土舘大学（対面） 11月26日（水）

⑧物流見学ネットワークの受け入れ

若い世代への物流業の認知度向上を目指し、会員企業の全国各地の物流施設の見学会を物流連ホームページで斡旋・紹介している。

登録されている物流施設を更新・拡充し、令和8年3月現在62拠点を掲載している。

令和7年度の見学実績は32件、見学者延べ人数は合計約1,350名であった。

- ・小学校 15校
- ・中学校 7校
- ・高校 3校
- ・大学 6校
- ・その他 1件

⑨職場体験の受け入れ

主に中学生を対象として職場体験実習を行い、実際に「働く」ことを体験するとともに、物流の仕組み等を勉強する機会を以下1校に提供した。

物流連の広報担当として、物流施設を見学したうえで、物流業界の魅力をホームページで発信した。

- ・日程：令和7年11月11日（火）～13日（木）
- 対象：東京都立白鷗高等学校附属中学校
- 人数：4名

⑩活躍する女性の紹介

物流業界における女性の活躍状況を広く社会に発信するため、物流業界で働く女性社員にインタビューを実施し、業務の内容や物流業でのやりがい、今後の抱負等を会報の「会員企業をたずねる 女性の力、女性の声」のページや物流連のホームページで紹介した。

- ・ユーピーアール(株) 会報112号(6月発行)
- ・山九(株) 会報113号(9月発行)
- ・札幌通運(株) 会報114号(12月発行)
- ・琉球物流(株) 会報115号(3月発行)

⑪マイナビ主催「マイナビ転職フェア」に出展

転職者や再就職を考えている求職者を対象に、物流業界や物流企業の社会的重要性や先進性を伝え、就職先として物流業界を選んでもらうことを目的とし、株式会社マイナビ主催の「マイナビ転職フェア」に物流連としてブースを出展した。

当ブースに着席した求職者11名に対し、物流業界の説明や会員企業の採用情報等について案内を行った。

【概要】

- ・開催日 : 令和7年8月30日(土) 11:00~18:00
- ・会場 : 新宿NSビル
- ・ブース名 : 【物流業界へ転職】運ぶだけじゃない! 物流業界の魅力をご紹介

⑫X(旧 Twitter) による広報活動

社会インフラを支える物流の社会的認知向上を図るため、物流の「未来」や物流の「舞台裏」、お役立ち情報を発信するコンテンツとして立ち上げた。

【アカウント概要】

- ・アカウント名 : 日本物流団体連合会【公式】
- ・ユーザー名 : @jalot__official
- ・URL : https://x.com/jalot__official

(3) 国際業務委員会関係

①令和7年度第1回国際業務委員会

- ・開催日 : 令和7年9月4日(木)
- ・会場 : 尚友会館8階 尚友倶楽部 会議室

第一部「講演会」

- ・出席者 : 63名(対面20名、オンライン43名)

- ・講師：国際機関日本アセアンセンター 業務統括部長代理 石田靖氏
- ・テーマ：「アセアンの物流事情について」

第二部「委員会」

- ・出席者：30名（対面20名、オンライン10名）
- ・議題：a. 最近の国土交通省における国際物流政策の取り組みについて（国土交通省）
 - b. 令和7年度 上期活動報告について
 - c. 令和7年度 下期活動計画について

委員会では、伴野委員長の挨拶の後、国土交通省 物流・自動車局 牧野国際物流室長から最近の国土交通省における国際物流政策の取り組みについて説明が行われた。

続いて、事務局から上期の活動報告として、海外物流戦略ワーキングチームで進めている海外物流事情実態調査（対象国：インド）に関する経過報告を行った。

次に、下期の活動計画として、「海外物流事情実態調査」の実施、「コールドチェーン物流サービスの規格普及に向けた取組み」に係る会議の予定等について説明が行われ、原案通り承認された。

②令和7年度第2回国際業務委員会

- ・開催日：令和8年3月24日（火）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室

第一部「講演会」

- ・出席者：50名（対面19名、オンライン31名）
- ・講師：神奈川大学 経済学部現代ビジネス学科教授 松田琢磨氏
- ・テーマ：「脱中国依存下における国際海運とサプライチェーン再編」

第二部「委員会」

- ・出席者：23名（対面19名、オンライン4名）
- ・議題：a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取り組みについて（国土交通省）
 - b. 令和7年度 活動報告について
 - c. 令和8年度 活動計画について

委員会では、伴野委員長の挨拶の後、国土交通省 物流・自動車局 牧野国際物流室長から最近の国土交通省の国際物流政策の取り組みについて説明が行われた。

続いて、事務局からISO/TCでの活動内容やインドを対象国とした海外物流事情実態調査の報告書要約版の発行など令和7年度の活動報告があった。

次に、令和8年度の活動計画（案）について審議が行われ、本年に引き続き「物流企業の国際展開に資するための施策を実施する」をスローガンに掲げ、海外物流事情実態調査（対象国：インドネシア）の実施、物流分野における国際標準化に関する取組み等、原案通り承認された。

③海外物流戦略ワーキングチームの活動

国際業務委員会では、国土交通省幹部を交えたワーキングチームを結成し、海外において我が国の物流事業者がどのような問題を抱え、どのような要望を持っているかを把握し、一企業を超える横断的問題について検討を行うため、会合を定期的に行っている。令和7年度は計3回の会合を開催した。

海外物流事情実態調査は令和6～7年にわたり行い、対象国はインドとし現地調査を、令和7年4月20～27日に実施。本年からは、海外物流戦略ワーキングチームメンバー企業からの参加を募って行うこととしたが、メンバー企業の日程調整ができないなどの理由から事務局のみで行うこととなった。

また、国土交通省による講演を通じて同省の国際物流政策に関する理解を深め、情報共有を図るとともに、同省が行う各種アンケートへの協力等を行った。

* 第1回ワーキングチーム会合

- ・開催日：令和7年6月18日(木)
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室

第一部「講演会」

- ・出席者：109名（対面21名、オンライン88名）
- ・講師：Association of Supply Chain Professionals / ASCP
サプライチェーン専門家協会 事務局長
Anshuman Neil Basu 氏
- ・テーマ：「THE STATE OF SUPPLY CHAIN A necessary enable for Make in India」

第二部「ワーキングチーム会合」

- ・出席者：33名（対面21名、オンライン12名）
- ・議題：a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取り組みについて(国土交通省)
b. 物流業の海外進出に向けた諸外国の物流事情実態調査
インド海外物流事情実態調査結果（速報）について

* 第2回ワーキングチーム会合

- ・開催日：令和8年2月12日(木)
- ・会場：日本物流団体連合会 会議室 オンライン

「ワーキングチーム会合」

- ・出席者：22名
- ・議題：a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取り組みについて(国土交通省)
b. 物流業の海外進出に向けた諸外国の物流事情実態調査
インド編 報告書について
c. 令和8年度物流事情実態調査候補地について

* 第3回ワーキングチーム会合

- ・開催日：令和8年3月16日(月)

- ・会 場：書面開催
- ・出席者：42名
- ・議 題：a. 物流業の海外進出に向けた諸外国の物流事情実態調査インド編
報告書の内容について（メンバーによる内容最終チェック）
b. 令和8年度物流事情実態調査候補地（インドネシア）について

④国際規格（標準化）等の普及に向けた取り組み

日本主導のコールドチェーン物流サービス規格である日本規格協会規格(BtoB)と中国主導のフィジカルインターネットセンター規格(イノベティブロジスティクス)の両規格の普及・検討に向けた取り組みが官民連携して進められている。

イノベティブロジスティクス規格については、投票権を持たない0(observer)メンバーへ変更となったが、中国及び韓国の動向を見ながら、日本企業の不利にならない規格になるよう経過観察を継続。両規格とも委員として参画しており、来年度も継続する予定。

(4) 環境・サステナビリティ委員会関係

① 令和7年度 第1回環境・サステナビリティ委員会

- ・開催日：令和7年9月16日(火)
- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室

第一部 講演会

- ・出席者：59名（対面19名、オンライン40名）
- ・講 師：日本通運株式会社 事業統括本部通運部次長 植竹裕氏
- ・テーマ：「青森県産りんご モーダルシフトの取り組み」

第二部 委員会

- ・出席者：25名（対面19名、オンライン6名）
- ・議 題：a. 令和7年度 上期活動報告について
b. 令和7年度 下期活動計画について

委員会では、上期の活動として、第26回物流環境大賞の表彰結果報告を行った。

また、下期活動計画（案）として、「日本物流大賞」の創設と委員会名称の変更について、第24回グリーン物流パートナーシップ会議優良事業者表彰を12月に行うこと、1月、2月にカーボンニュートラル情報交換会の活動として物流施設の見学会と講演会を予定していることなどを説明し、下期活動計画は原案通り承認された。

② 令和7年度 第2回環境・サステナビリティ委員会

- ・開催日：令和8年3月11日(水)
- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室

第一部 講演会

- ・出席者：31名（対面19名、オンライン13名）

- ・講師：株式会社赤ちゃん本舗 吉田興輝氏 株式会社啓和運輸 片桐淳一氏
- ・テーマ：「モーダルシフトの取り組みについて」

第二部 委員会

- ・出席者：26名（対面19名、オンライン7名）
- ・議題：a. 令和7年度 活動報告について
b. 令和8年度 活動計画について

委員会では、令和7年度の活動報告と、令和8年度活動計画について審議が行われ、カーボンニュートラル情報交換会の活動報告、日本物流大賞の応募状況等の報告がされ、令和8年度活動計画については原案通り承認された。

③ 第26回「物流環境大賞」の表彰

物流部門における、環境保全の推進や環境意識の高揚等を図り、物流の健全な発展に貢献した団体・企業または個人を表彰する制度である「物流環境大賞」の表彰を行った。本年度は31件の応募があり、のべ95社を表彰した。

- ・表彰式開催日：令和7年6月30日(月)
- ・会場：東京プリンスホテル

(受賞企業一覧)

a. 物流環境大賞（1件）

- ・つがる弘前農業協同組合／日本通運(株)／日本貨物鉄道(株)

b. 低炭素物流推進賞（3件）

- 1) (株)ランテック
- 2) (株)赤ちゃん本舗／(株)啓和運輸
- 3) TOYO TIRE (株)／井本商運(株)
オーシャン ネットワーク エクスプレス ジャパン(株)／新洋海運(株)

c. サステナブル活動賞（3件）

- 1) 博多運輸(株)／(株)ヒューテックノオリン／(株)日清製粉ウェルナ
(株)ナカムラロジスティクス／ロイヤル(株)／日本貨物鉄道(株)
- 2) (株)comvey／日本郵便(株)
- 3) (株)プロロジス

d. 先進技術賞（3件）

- 1) 日本通運(株) / (株)ジェイアール東日本物流
- 2) 全日本空輸(株) / Lufthansa Technik AG
- 3) (株)NEXT DELIVERY / 山梨県小菅村役場 / 山梨県丹波山村役場

佐川急便(株)/富岳通運(株)/福山通運(株)/
セイノーホールディングス(株)

e. 日本物流記者会賞（1件）

・ 佐川急便(株)/平野屋物産/全国通運(株)/日本貨物鉄道(株)

f. 奨励賞（20件）

1) ネスレ日本(株)/日本貨物鉄道(株)/全国通運(株)/

JR 貨物ロジ・ソリューションズ(株)/静岡通運(株)

2) 西濃運輸(株)/日本曹達(株)

3) 日清オイリオグループ(株)/日清物流(株)/神奈川臨海通運(株)

4) 佐川急便(株)/株なとり/大宮通運(株)/日本貨物鉄道(株)

5) 日本通運(株)/日本ペイント・オートモーティブコーティングス(株)

6) 株再春館製薬所/佐川急便(株)/西九大運輸倉庫(株)/日本貨物鉄道(株)

7) 日本梱包運輸倉庫(株)/住友ゴム工業(株)/東北三八五流通(株)/
日本フレートライナー(株)

8) タニコー(株)/鴻池運輸(株)/トランコム(株)/日本貨物鉄道(株)

9) A-Gas Japan(株)/日本フレートライナー(株)/日本貨物鉄道(株)日本石油輸送(株)

10) 佐川急便(株)/ジャパンライフ(株)/佐川グローバルロジスティクス(株)

11) 日本信号(株)/栃木日信(株)/株水上三洋商会/東京輸送(株)

12) 山九(株)/三井化学(株)

13) 東京九州フェリー(株)/久留米運送(株)/マリネックス(株)

14) 鈴与(株)/鈴与カーゴネット(株)/株LIXIL/株LIXIL 物流

15) 日本通運(株)

16) 日本通運(株)

17) 山九(株)/三井化学(株)

18) 山九(株)/三井化学(株)

19) 山九(株)/三井化学(株)/三井・ダウ ポリケミカル(株)

20) SBS東芝ロジスティクス(株)

④「令和7年度 グリーン物流パートナーシップ会議

物流パートナーシップ優良事業者表彰」を実施

本会議は、グリーン物流の推進に向けて荷主と物流事業者が連携を深める場として平成17年に発足したもので、国土交通省、経済産業省、日本ロジスティクスシステム協会と物流連が会議・表彰制度の運営に当たっており、複数事業者間のパートナーシップにより、物流分野の環境負荷低減に関して特に顕著な功績があった取り組みに対して表彰を行っている。本年度は、以下の通り表彰を行った。

・開催日：令和7年12月23日(火)

・場 所：砂防会館別館

本年度は23件の応募があり、以下の9件が表彰された。

- (1) 国土交通・経済産業大臣表彰 各1件
- (2) 物流DX・標準化表彰2件 (3) 物流構造改革表彰1件
- (4) 強靱・持続可能表彰2件 (5) 特別賞2件

⑤ 物流分野における低炭素・脱炭素化推進に向けた情報交換会

(略称：カーボンニュートラル情報交換会)

2050年カーボンニュートラルや2030年の中期目標に向けた動き、国や産業界の対応や物流業界の取り組み等について、有識者による講演や会合メンバーによる事例発表を通じて、情報交換を行っているほか、環境負荷低減に資する産業施設の見学も開催している。本年度は、2回の会合を行い、先進的な取り組みを行っている物流企業、荷主企業、学識経験者と、様々な角度からの講演会及び施設見学会を行い、情報提供と、参加同士での情報共有の機会とした。

- ・第1回会合：令和8年1月13日(火)
東京九州フェリー株式会社 「それいゆ」見学 (参加者：21名)
- ・第2回会合：令和8年2月12日(水)
公益財団法人日本海事センター 森本清二郎氏による講演会 (参加者：29名)
「外航海運における脱炭素化に向けた取組み」及び情報交換会

⑥ 各種表彰事例の普及

上記の通り、会員企業等における環境活動の促進に資するため、「物流環境大賞」を受けた優良事例を紹介する講演会を開催するなど、普及啓発に努めた。その一環として、海上モーダルシフトの2事例を、マリンエンジニアリング学会誌(令和8年1月号)に寄稿した(赤ちゃん本舗/啓和運輸の事例と、TOYO TIRE/井本商運/オーシャン ネットワーク エクスプレス ジャパン/新洋海運の事例)。

(5) 経営効率化委員会関係

①令和7年度第1回経営効率化委員会

- ・開催日：令和7年9月29日(月)
- ・会場：全日通霞が関ビル8階 会議室 オンライン併用

第一部「講演会」

- ・出席者：約42名(対面参加12名、オンライン参加約30名)
- ・テーマ：「ヤマトグループにおける障がい者福祉の取り組みについて」
- ・講師：ヤマト運輸株式会社 働きやすい職場作り推進部EX推進課長 高橋幸一氏

第二部「委員会」

- ・出席者：20名(対面参加12名、オンライン参加8名)
- ・議題：a. 令和7年度 上期活動報告について

b. 令和7年度 下期活動計画について

委員会では、上期活動報告として、ダイバーシティ推進ワーキングチーム（障がい者活躍推進）における活動報告、「2030年度に向けた総合物流施策大綱に関する検討会」への参画等について事務局から説明があった。

続いて、下期の活動計画として、施設見学会の実施、及び新たに「先進技術活用推進情報交換会」を立ち上げる旨とその活動予定等について事務局から説明が行われ、ともに原案通り承認された。

②令和7年度第2回経営効率化委員会

- ・開催日：令和8年3月10日(火)
- ・会場：全日通霞が関ビル8階 会議室 オンライン併用

第一部「講演会」

- ・出席者：約100名（対面参加14名、オンライン参加約86名）
- ・テーマ：「物流企業はAI産業革命によって劇的に変貌する」
- ・講師：株式会社エビングハウス・テクノロジー 代表取締役 宮里隆司氏

第二部「委員会」

- ・出席者：20名（対面14名、オンライン6名）
- ・議題：a. 令和7年度 活動報告について
b. 令和8年度 活動計画について

委員会では、ダイバーシティ推進ワーキングチーム（障がい者活躍推進）の最終報告書公表、施設見学会の実施、「先進技術活用推進情報交換会」の新設、活動開始、「2030年度に向けた総合物流施策大綱に関する検討会」等への参画について事務局から説明が行われた。

続いて、令和8年度活動計画（案）として、「先進技術活用推進情報交換会」の取り組みの継続、施設見学会の実施、AIの活用に関する物流連会員への意識調査等の実施、「トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会」および「官民物流標準化懇談会」ならびにその分科会等への参画等についての説明が事務局から行われ、原案通り承認された。

③ダイバーシティ推進ワーキングチーム(障がい者の活躍推進)の開催、報告書公表

経営効率化委員会のもとに令和6年9月に立ち上げた「障がい者の活躍推進」をテーマとするワーキングチーム（座長 東京女子大学 二村 真理子 教授）の会合を開催し、障がい者雇用の現状、各企業が抱える問題点・課題等の把握、および障がい者の活躍推進のための方策等についての調査検討の最終報告を取りまとめ、公表した。

*第3回会合

- ・開催日：令和7年5月16日（金）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階 会議室 オンライン併用
- ・出席者：23名（対面参加12名、オンライン参加11名）
- ・議題：a. ワーキングチーム委員からの情報共有依頼について
b. アンケート再調査結果
c. 事業者への個別ヒアリング調査経過報告

*** 第4回会合**

- ・開催日：令和7年6月25日（水）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階 会議室 オンライン併用

第一部「講演会」

- ・出席者：約43名（対面13名、オンライン約30名）
- ・テーマ：「障害者雇用 ～精神・発達障がいのある人たちと共に～」
- ・講師：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
職業リハビリテーション部指導課 池田崇文氏

第二部「会合」

- ・出席者：21名（対面13名、オンライン8名）
- ・議題：a. 事業者への個別ヒアリング調査経過報告
b. 最終報告書構成案（目次案）

*** 第5回会合（最終回）**

- ・開催日：令和7年8月18日（月）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階 会議室 オンライン併用
- ・出席者：22名（対面15名、オンライン7名）
- ・議題：最終報告書案の内容について

*** 報告書発行**

「物流業界における障がい者活躍推進に向けた検討 報告書」

- ・公表日：令和8年2月9日（月）

④施設見学会

物流業界における「先進技術の活用」、「物流デジタル化」等に関する検討の一環として、成田空港内の株式会社ANA Cargo 貨物上屋「第8貨物ビル」の見学会を実施し、日本の航空会社で初となる、AGV等の先進技術が導入された最新鋭の航空貨物上屋施設を見学した。

*** 施設見学会**

- ・開催日：令和7年11月10日（月）
- ・見学先：株式会社ANA Cargo 成田空港内 ANA 貨物上屋「第8貨物ビル」

- ・参加者：24名

⑤先進技術活用推進情報交換会の新設、活動開始

経営効率化委員会のもとに「先進技術活用推進情報交換会」を発足させ、物流連会員企業・団体各社から有志メンバーを募り活動を開始し、計2回の会合を開催した。有識者による講演会、およびワークショップを実施した。

* 第1回会合

- ・開催日：令和8年2月20日(金)
- ・会場：全日通霞が関ビル8階 会議室 オンライン併用
- ・出席者：20名（対面17名、オンライン3名）
- ・講師：一般社団法人ワークロイド・ユーザーズ協会
理事・筆頭副会長 田中純氏
- ・テーマ：「20世紀は人、モノ、カネ、21世紀は人、人、人！」
～『真の顧客価値』をもっともボリュームに提供できる
フィールド・市場が既に広がっているのが物流サービスの領域～

* 第2回会合

- ・開催日：令和8年3月31日(火)
- ・会場：全日通霞が関ビル8階 会議室 オンライン併用
- ・出席者：21名（対面18名、オンライン3名）
- ・講師：一般社団法人ワークロイド・ユーザーズ協会
理事・筆頭副会長 田中純2氏
- ・テーマ：「20世紀は人、モノ、カネ、21世紀は人、人、人！」
～『真の顧客価値』をもっともボリュームに提供できる
フィールド・市場が既に広がっているのが物流サービスの領域 ～ その2

⑥「2030年度に向けた総合物流施策大綱に関する検討会」への参画

次期総合物流施策大綱策定のため有識者による検討会に物流連として参画し、会員企業その他の物流事業者からの意見・要望等が織り込まれるよう努めた。当検討会は計9回開催された。

2. 公益目的支出計画による事業活動

実施事業<継続事業>に関する事業報告

① <継続事業 1> キャリア教育支援事業

大学生などが物流事業について理解を深める機会を提供するため、物流業界合同説明会を東京・大阪会場及びWebにおいて実施した。(学生290名が参加)

② <継続事業 2> 物流関連調査・研究事業

調査・研究として、下記の活動を行った。

- a. インドを対象国とする海外物流事情実態調査(令和6年度から継続)
- b. 物流事業者における障がい者の活躍推進に向けた調査検討(令和6年度から継続)

③ <継続事業 3> 物流の環境対応に資する活動事業

「物流環境大賞」については、大賞をはじめとした複数の部門賞に関し、令和7年6月に、31案件、のべ95社を表彰した。

「物流パートナーシップ優良事業者表彰」については、経済産業省、国土交通省、日本ロジスティクスシステム協会並びに当連合会の共催で、12月に、24回目の本会議を開催し、各表彰を行った。

④ <継続事業 4> 大学寄附講座

教育支援の一環として行っている大学寄附講座については、以下の2大学で実施した。

- ・前期：青山学院大学 毎週月曜日3限(令和7年4月～7月)
- ・後期：横浜国立大学 毎週木曜日3限(令和7年10月～令和8年1月)

3. 広報・情報提供・出版事業等の活動

(1) 会員及び外部への情報提供等

①「新年賀詞交換会」の開催

令和8年1月29日（木）第一ホテル東京において、新年賀詞交換会を開催した。参加者は約240名。

②「物流連新春シンポジウム」の開催

新年賀詞交換会に先立ち、「物流人材の確保・育成」をテーマとした、シンポジウムを開催した。

本シンポジウムでは、最初に、①国土交通省 大臣官房総括審議官 岡野まさ子氏②株式会社インディードリクルートパートナーズ 執行役員（エージェントサービス事業） 近藤裕氏③株式会社イー・ロジット 取締役会長兼チーフコンサルタント 角井亮一氏らの講演の後、流通経済大学教授 矢野裕児氏をコーディネーターとしたパネルディスカッションを実施した。

出席者は、186名（対面146名、オンライン40名）であった。

③「物流連懇談会」の開催

物流連では、平成24年度から、会員への情報提供や会員相互の情報交換を定期的に図る場として、年2回、物流連会員企業・団体等のトップ（代表者）を講師に招いた講演会を午餐会形式で開催している。

第26回懇談会は、令和7年4月23日（水）法曹会館にて、講師に西濃運輸株式会社 副社長執行役員である田口幸太郎氏を迎え、「共創時代のロジスティクス戦略」と題して開催した。参加者は60名。

第27回懇談会は、令和7年10月22日（水）海運クラブにて、講師に日本内航海運組合総連合会 会長・栗林商船株式会社 代表取締役社長である栗林宏吉氏を迎え、「内航海運の現状と今後～モーダルシフトを中心に～」と題して開催した。参加者は66名。

④「講演会」等の開催

各委員会等の開催に合わせて、物流連会員向けに、外部講師を招いた講演会等を以下のとおり実施した。（計12回）

「THE STATE OF SUPPLY CHAIN A necessary enable for Make in India」
（海外物流戦略ワーキングチーム）

- ・開催日：令和7年6月18日(木)
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：109名（対面21名、オンライン88名）
- ・講師：Association of Supply Chain Professionals / ASCP
サプライチェーン専門家協会 事務局長
Anshuman Neil Basu 氏

「アセアンの物流事情について」（海外物流戦略ワーキングチーム）

- ・開催日：令和7年9月4日(木)
- ・会場：尚友会館8階 尚友倶楽部 会議室
- ・出席者：63名（対面20名、オンライン43名）
- ・講師：国際機関日本アセアンセンター 業務統括部長代理 石田靖氏

「青森県産りんご モーダルシフトの取り組み」（環境・サステナビリティ委員会）

- ・開催日：令和7年9月16日(火)
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：59名（対面19名、オンライン40名）
- ・講師：日本通運株式会社 事業統括本部通運部次長 植竹裕氏

「ヤマトグループにおける障がい者福祉の取り組みについて」（経営効率化委員会）

- ・開催日：令和7年9月29日(月)
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：約42名（対面参加12名、オンライン参加約30名）
- ・講師：ヤマト運輸株式会社 働きやすい職場作り推進部EX推進課長
高橋幸一氏

「最近の物流政策の概要について」

- ・開催日：令和7年9月30日(火)
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：90名（対面13名、オンライン77名）
- ・講師：国土交通省物流・自動車局物流政策課長 高田龍氏

「外航海運における脱炭素化に向けた取り組み」（カーボンニュートラル情報交換会）

- ・開催日：令和8年2月12日(水)
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：29名
- ・講師：公益財団法人日本海事センター 森本清二郎氏

「20世紀は人、モノ、カネ、21世紀は人、人、人！」（先進技術活用推進情報交換会）

～『真の顧客価値』をもっともボリュームに提供できる

フィールド・市場が既に広がっているのが物流サービスの領域～

- ・開催日：令和8年2月20日(金)
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：20名（対面17名、オンライン3名）
- ・講師：一般社団法人ワークロイド・ユーズ協会
理事・筆頭副会長 田中純氏

「物流企業はAI 産業革命によって劇的に変貌する」（経営効率化委員会）

- ・開催日：令和8年3月10日(火)
- ・会場：全日通霞が関ビル8階 会議室 オンライン併用
- ・出席者：約100名（対面参加14名、オンライン参加約86名）
- ・講師：株式会社エビングハウス・テクノロジー 代表取締役 宮里隆司氏

「モーダルシフトの取り組みについて」（環境・サステナビリティ委員会）

- ・開催日：令和8年3月11日(水)
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：31名（対面19名、オンライン13名）
- ・講師：株式会社赤ちゃん本舗 吉田興輝氏 株式会社啓和運輸 片桐淳一氏

「最近の物流政策について」

- ・開催日：令和8年3月23日（月）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：77名（対面13名、オンライン64名）
- ・講師：国土交通省物流・自動車局物流政策課長 高田龍氏

「脱中国依存下における国際海運とサプライチェーン再編」（国際業務委員会）

- ・開催日：令和8年3月24日(火)
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：50名（対面19名、オンライン31名）
- ・講師：神奈川大学 経済学部現代ビジネス学科教授 松田琢磨氏

「20世紀は人、モノ、カネ、21世紀は人、人、人！」（先進技術活用推進情報交換会）

～『真の顧客価値』をもっともボリュームに提供できる

フィールド・市場が既に広がっているのが物流サービスの領域～ その2

- ・開催日：令和8年3月31日(火)
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：21名（対面18名、オンライン3名）

- ・講師：一般社団法人ワークロイド・ユーズーズ協会
理事・筆頭副会長 田中純氏

⑤海外物流視察団をアメリカ西海岸地区へ派遣

今後の物流変革に必須となるDX（デジタルトランスフォーメーション）の研究や、最先端のEC物流倉庫・港湾施設などを訪問し、高度化、個性化、インテリジェント化が著しい最新物流技術の動向を調査するとともに、今後の高度ロジスティクスシステム構築の指針を得ることを目的として、視察団を派遣した。

- ・期間：9月7日～13日、7日間
- ・訪問先：Salesforce Inc.（サンフランシスコ）
Amazon フルフィルメントセンター（ロサンゼルス）
Yusen Logistics Americas Inc.&Yusen Terminals Inc.
（ロサンゼルス ロングビーチ港）

⑥物流連「会報（Grow）」の発行

会員との交流を図るため、令和7年度には、年4回（6月、9月、12月、3月）発行した。

⑦ホームページを活用した情報発信強化

ホームページの会員専用ページを活用して、会員向けに講演会資料、各種報告書等の情報提供を実施し、会員への情報発信強化を図った。

⑧「物流連のご案内」

物流連の組織や活動を紹介する「物流連のご案内」をより分かりやすく編集し、物流業界関係者に向けたアピールや、会員・賛助会員の拡大などに活用している。

⑨メールマガジンによる情報発信

現在、物流連のメールマガジンは1,500人強の配信登録があり、物流に関わる業界・行政等のニュースや各種統計情報、研修の案内等の情報発信を行っている。令和7年度も、概ね20日間隔で配信した。

⑩「論説委員・解説委員との懇談会」の実施

メディア関係者に物流の現状と課題、取り組みの方向性等について理解を深めていただくため、令和8年2月、国土交通省幹部の参加を得て、主要な新聞社・テレビ局の論説委員・解説委員と物流連幹部の懇談会を引き続き開催して意見交換を行った。

（2）出版事業

「物流業界における障がい者活躍推進に向けた検討 報告書」の発行

経営効率化委員会のもとに令和6年9月に立ち上げた「障がい者活躍推進ワーキングチーム」の活動を通じて、障がい者雇用の現状、各企業が抱える問題点・課題等の把握、および障がい者の活躍推進のための方策等について調査検討した結果を報告書として取りまとめたものである。

「数字でみる物流」の発行

物流担当者必携のポケットブック「数字でみる物流」2025～26年度版を令和7年12月に発行した。これは、我が国の物流動向（国内物流、国際物流、輸送機関別輸送、貨物流通施設、フォワーダー、消費者物流、情報化等の動向）について、最新数値を使い、表・グラフ等にてわかりやすく詳細に解説したものである。

（3）物流EDI事業

下記の業務を行うとともに、関係者に情報提供を行った。

- ・物流EDI標準「JTRN」及び「物流XML/EDI標準」の維持管理
物流情報標準ガイドラインの改訂（ver. 3.00;令和7年2月）に合わせ、「物流XML/EDI標準」の改訂作業（ver. 3.01）を行っている。
- ・サプライチェーン情報基盤研究会等のEDI標準化団体との連携及び委員会への参加を通じた他業界との交流による普及活動
- ・流通業界のEDI標準推進団体である流通BMS推進協議会への参加

（4）サイバーセキュリティ関連

内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）が支援する重要インフラ分野の業界で構成するセプターカOUNシル（重要インフラ15分野、21セプターで構成）に、物流セプター幹事として参加し、サイバーセキュリティに関する業界横断的な情報交換・情報収集を行っている。令和6年12月には、NISCが主催するサイバーセキュリティに関する全分野一斉演習に国土交通省、物流事業者とともに物流セプター事務局として参加した（同演習には869組織、6,981名が参加）。

また、国土交通省が主導する交通ISACのWGの活動（物流、鉄道、航空各分野で構成）にメンバーとして参加し、サイバーセキュリティに関する情報共有化を推進した。加えて、国土交通省が主導する交通ISACのWGの活動（物流、鉄道、航空各分野で構成）にメンバーとして参加し、サイバーセキュリティに関する情報の共有化を図った。

4. 総会・役員会等の開催状況

(1) 総会

令和7年度定時総会

- ・開催日：令和7年6月30日（月）
- ・会場：東京プリンスホテル 2階「サンフラワーホール」
- ・出席者：40名 委任状50名
- ・議題：【報告事項】令和6年度事業報告について
【第一号議案】令和6年度決算(案)について
【第二号議案】役員を選任を求める件について
【第三号議案】会費規程の一部改正について

(2) 正副会長会議

①第1回正副会長会議

- ・開催日：令和7年10月6日（月）

(3) 理事会

①第1回理事会

- ・開催日：令和7年6月3日（火）
- ・会場：海運クラブ 304号室
- ・出席者：理事総数28名中、出席者16名
監事総数 2名中、出席者 1名
- ・議題：【第一号議案】令和6年度事業報告（案）について
【第二号議案】令和6年度決算（案）について
【第三号議案】役員候補者の選任について
【第四号議案】会費規程の一部改正について
【第五号議案】令和7年度定時総会の招集について
【第六号議案】日本物流大賞表彰規程の制定と物流環境対策委員会の名称変更について

②第2回理事会

- ・開催日：令和7年6月30日（月）
- ・会場：東京プリンスホテル 3階「紅梅」
- ・出席者：理事総数28名中、出席者19名
監事総数 2名中、出席者 2名
- ・議題：【第一号議案】役員候補者の選任について

③第3回理事会

- ・開催日：令和7年6月30日（月）
- ・会場：東京プリンスホテル 3階「紅梅」
- ・出席者：理事総数27名中、出席者22名
監事総数 2名中、出席者 2名
- ・議題：【第一号議案】正副会長、代表理事及び業務執行理事の選定について

④第4回理事会

- ・開催日：令和7年11月11日（火）
- ・会場：第一ホテル東京「4階 フローラ」
- ・出席者：理事総数27名中、出席者15名
監事総数 2名中、出席者 2名
- ・議題：【第一号議案】令和7年度上期事業報告(案)について
【第二号議案】新規会員の入会について

⑤第5回理事会

- ・開催日：令和8年3月30日（月）
- ・会場：海運クラブ 304号室
- ・出席者：理事総数28名中、出席者20名（うちWeb参加5名）
監事総数 2名中、出席者 2名（うちWeb参加1名）
- ・議題：【第一号議案】令和8年度事業計画（案）について
【第二号議案】令和8年度収支予算（案）について
【第三号議案】常勤役員の報酬等について

5. 会員の異動

会員種別	会 員 数		増減数
	7年度末現在	6年度末現在	
正会員(団体会員)	15	14	+1
正会員(企業会員)	79	80	-1
正会員 計	94	94	0
賛助会員	40	41	-1

II. 業務の適正を確保するための体制の整備についての決定等

特記すべきことは無い。

III. 事業報告の付属明細書について

事業報告書に詳細に記載したので、特記すべきことは無い。

以上